

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・すべての項目で十分達成、おおむね達成となった。業務改善及び職員の働き方に対する意識改革も進み、教育の質の向上、職員のワークライフバランスの改善につながった。次年度は、更なるワークライフバランスの充実を実現させながら、以下4点の改善・充実に取り組む。 ①学習中、指示待ちの姿が見られる。向上心・探求心をもち、自ら主体的に学びを進める態度の育成を図る。 ②この少人数の中でも、自分の考えを発信することをためらう児童も多い。何事にも失敗を恐れず挑戦する態度を養う。 ③学年相応の役割や望ましい行動についての判断場面や思考場面を設定し、「いつでも・どこでも・だれとでも」の具現化を図る。 ④地域、保護者、学校職員の議論を重ね、持続可能な取組としての山村留学の新しい形を創造していく。
------------------	--

2 学校教育目標	郷土を愛し、心豊かで心身共にたくましく、生き生きと学ぶ東部っ子の育成 「進んで学習」「心と体を鍛えて何事にもチャレンジ」「自分も友達も大切に」
----------	--

3 本年度の重点目標	①めあてをもって主体的に学習し、自分の考えを進んで発信する児童の育成 ②健やかな体と心をもち、前向きに何事にも挑戦する児童の育成 ③自他や郷土の良さを知り大切にするとともに、相手を思いやり、共に生きようとする児童の育成
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%(4名)以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研究等により取組の促進を図る。								
	○主体的な学び手を育成する授業の実践	○単元や一単位時間の振り返り(国語科)に、単元の目標をもとにした①できていること②できていないこと③新たな目標(次の時間にしたいこと)を書くことができる児童75%(11名)以上	・国語科における「学習課題」設定を核とした単元・授業づくりの実践。 ・主体的に学習に取り組む児童の姿を具体かつ明確にして、日常的な評価を充実させた授業実践の推進を図る。								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○下学年「自分も友達も大切にしている」 上学年「いつでも どこでも だれとでも年相応の望ましい行動ができている」と回答した児童85%(12名)以上	・特別活動における集団活動やソーシャルスキルトレーニングで、学年相応の望ましい行動についての思考・判断場面の設定及び評価の充実。 ・月1回の人権集会の充実を図る。								
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「こまったことやいやなことはすぐに相談できている」と回答した児童90%(13名)以上	・月1回の「心のアンケート」の改善、充実。 ・「何でも相談ポスト」の活用。 ・教育相談週間、SCIによる教育相談の充実。 ・報告・連絡・相談及びいじめ防止基本方針を周知徹底し、迅速かつ組織的対応の徹底を図る。								
	◎さがを誇りに思う教育の推進	○地域の特色とSDGsの17の目標いずれかと関連させた学習を各学級1つ以上実践する。	生活科、総合的な学習の時間等で、地域の特色とSDGsを関連させた学習の充実を図る。								
●健康・体づくり	④安全に関する資質・能力の育成	○「『自分の命は自分で守る』ために考えながら行動することができた」と回答した児童85%(12名)以上	・感染症対策や登下校の交通事故防止における思考・判断場面及び評価の効果的設定により日常指導の充実を図る。 ・各避難訓練や安全指導の中に、児童の判断場面や思考場面を設定することで危機察知能力や危機回避能力の向上を図る。								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・各行事・取組における前年度踏襲の見直しを図る。 ・「働き方改革」のための議論の場を年間2回以上設定する。(改善アンケート8月、1月) ・教諭等の業務の一部を支援する等事務職員の学校経営への参画を進める。								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特色ある学校づくりの推進	○保護者・地域と協働した持続可能な取組としての山村留学の改善・充実	○里親制度に加え、今年度中に家族留学制度の受け入れ態勢を整える。	・教育活動の見直しを行い、学校の特色となる取組の焦点化・重点化を図り学校の魅力度アップに努める。 ・ホームページ、学校だよりで学校の取組を広く発信し学校の特色を広める。 ・県内外の家族留学実践校からの情報収集 ・実行委員会(地域、保護者、学校)で、持続可能な山村留学のあり方についての議論を重ねる。								

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--